



WorkWithPlus

インストールガイド

2015 年 9 月改訂



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2015 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>



目次

はじめに	4
システム要件	5
セットアップ	6
gxui Library のインストール	6
Ext JS のインストール.....	7
アプリケーションのインストール	8
アプリケーションのアップグレード	12
アプリケーションのアンインストール	15
ライセンスの取得	19
ライセンス情報の表示.....	23
ライセンスの継続請求について	24
ライセンスの移行	29
自動ライセンス移行	29
手動ライセンス移行	32
ライセンスのアンインストール	35
ライセンスの再発行について	38
試用版から製品版に移行する	39
GeneXus Server X へのインストール	41
gxui Library のインストール.....	41
Ext JS のインストール.....	43
アプリケーションのインストール.....	45



はじめに

本書では、Work With Plus のインストール、ライセンスの請求および登録、ライセンス移行手順について説明しています。また、何らかのトラブルによって、ライセンスを喪失してしまった場合の再発行の手順についても説明しています。

ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。また、弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

Work With Plus のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。

システム要件

Work With Plus を実行するには、次のソフトウェアが必要です。

- GeneXus X Ev2
- gxui Library
- Ext JS

参考：GeneXus X Ev2 のシステム要件については、別紙の「GeneXus X Evolution 2 インストールガイド」を参照してください。

重要：gxui Library は BSD (Berkeley Software Distribution License) ライセンスに基づき、下記の著作権者に帰属します。Ext JS は GNU GPL license v3 に準拠したオープンソースライセンスに基づいています。ライセンスの詳細については GNU General Public License (<http://www.gnu.org/copyleft/gpl.html>) を参照してください。

Copyright © 2010-2013, Nicolás Cardelino, All rights reserved.

ソースコード形式かバイナリ形式か、変更するかどうかを問わず、以下の条件を満たす場合に限り、再頒布および使用が許可されます。

- ソースコードを再頒布する場合、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記免責条項を含めること。
- バイナリ形式で再頒布する場合、頒布物に付属のドキュメント等の資料に、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記免責条項を含めること。
- 書面による特別の許可なしに、本ソフトウェアから派生した製品の宣伝または販売促進に、著作権者の名前またはコントリビューターの名前を使用してはならない。
- 本ソフトウェアは、著作権者およびコントリビューターによって「現状のまま」提供されており、明示黙示を問わず、商業的な使用可能性、および特定の目的に対する適合性に関する暗黙の保証も含め、またそれに限定されない、いかなる保証也没有せん。著作権者もコントリビューターも、事由のいかんを問わず、損害発生の原因のいかんを問わず、かつ責任の根拠が契約であるか厳格責任であるか（過失その他の）不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した（代替品または代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれに限定されない）直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害について、一切責任を負わないものとします。

セットアップ

Work With Plus を使用する前に GeneXus X Evolution 2 アプリケーションのほかに「gxui Library」ユーザーコントロールおよび「Ext JS」JavaScript ライブラリーをインストールする必要があります。このセクションでは、これらのモジュールのインストール手順について説明します。

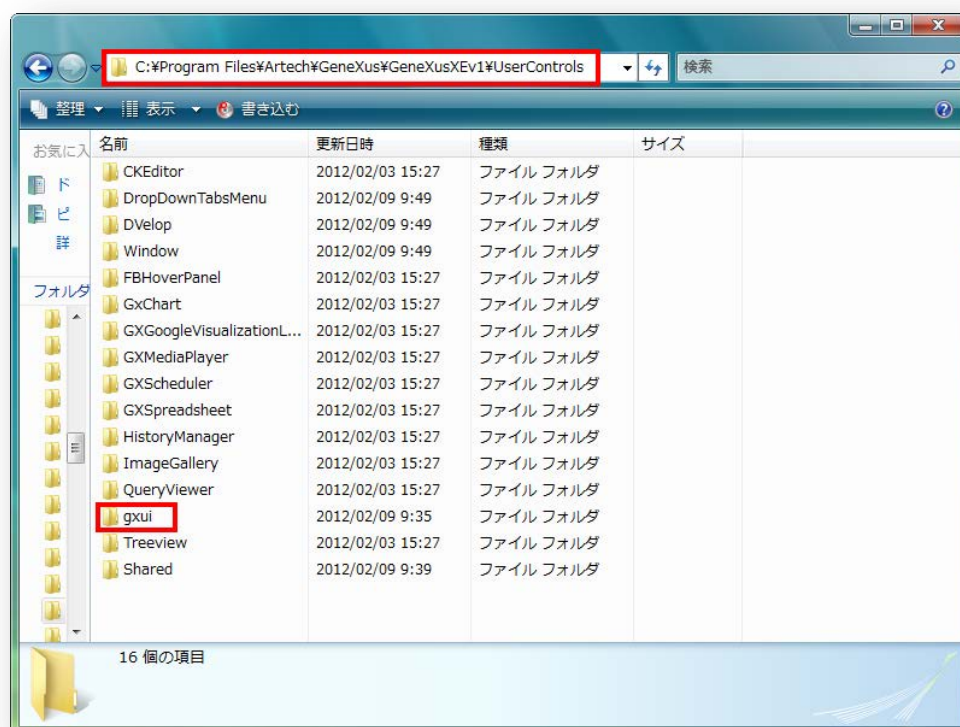
重要： Work With Plus アプリケーション、gxui Library ユーザーコントロール、および Ext JS のインストール、アップグレード、およびアンインストール、ライセンスの取得、ライセンスの移行、およびライセンスのアンインストールを実行する場合、予め GeneXus を終了しておく必要があります。

gxui Library のインストール

1. GeneXus market place (<http://marketplace.genexus.com/versions.aspx?gxuilibrary>)から gxui Library ユーザーコントロール version 1.1 beta (Build 1468) をダウンロードします。

注意： Work With Plus は gxui Library 2.0 には対応していません。

2. ダウンロードした zip ファイルを展開し、次のフォルダに配置します：
「.../Genexus/GenexusXEv2JP/UserControls」（gxui の内容は「gxui」と名付けられたフォルダ内に配置する必要があります）。

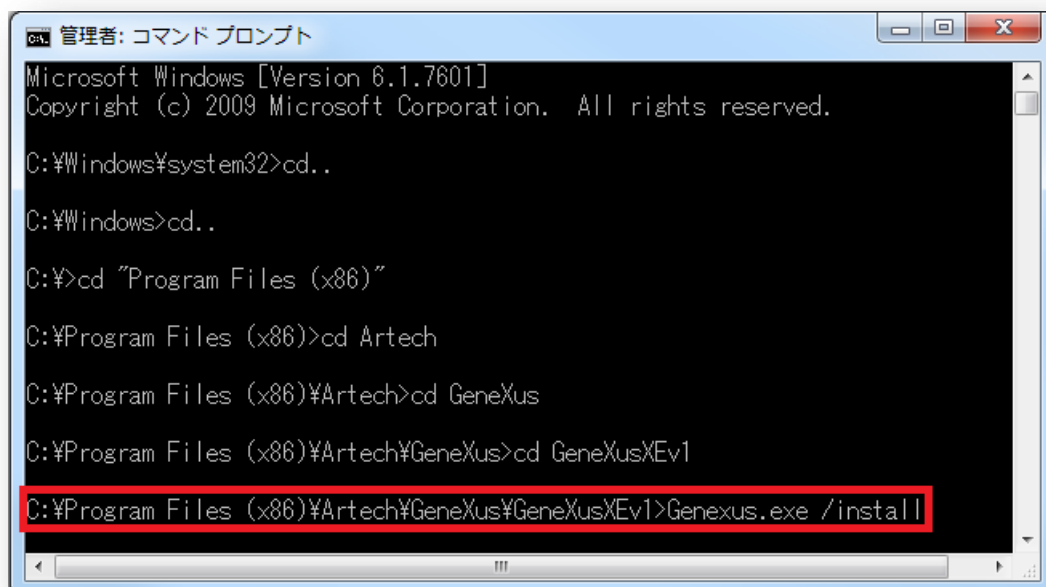


Ext JS のインストール

- Ext JS 2.3.0 を <http://www.sencha.com/products/extjs3/download/> からダウンロードします。
- ダウンロードした zip ファイルを展開し、「...\Genexus\GenexusXEv2JP\UserControls\Shared\」内に配置します。このとき、「Shared」という名前のフォルダを作成し、展開したフォルダごとそのフォルダ内にコピーします。このときフォルダ名を「ext」にしてください。



- 「gxui Library」ユーザーコントロールおよび「Ext JS」JavaScript ライブラリーのインストールが完了したら、管理者権限でコマンドプロンプトを起動し、下図のように「Genexus.exe/install」を実行します。



```

管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\system32>cd..
C:\Windows>cd..
C:\>cd "Program Files (x86)"
C:\Program Files (x86)>cd Artech
C:\Program Files (x86)\Artech>cd GeneXus
C:\Program Files (x86)\Artech\GeneXus>cd GeneXusXEv1
C:\Program Files (x86)\Artech\GeneXus\GeneXusXEv1>Genexus.exe /install
  
```

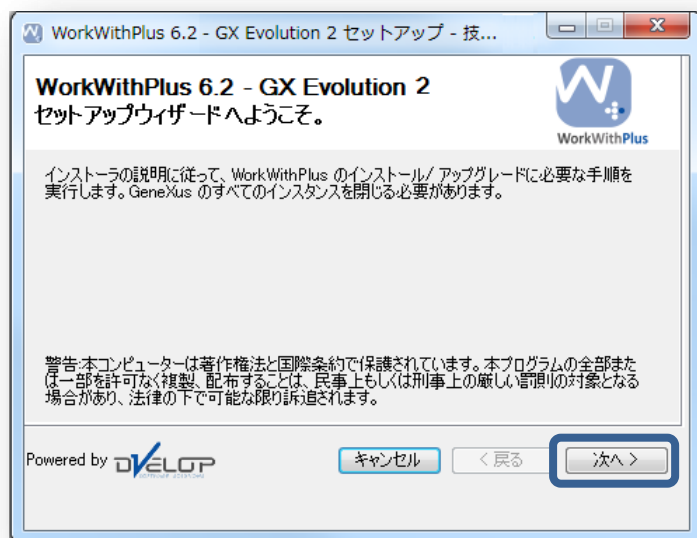
アプリケーションのインストール

このセクションでは、Work With Plus のインストール、サイトコードの生成、およびライセンスの請求手順について説明します。アプリケーションをインストールする前に必ず前述の「[セットアップ](#)」を参照してください。

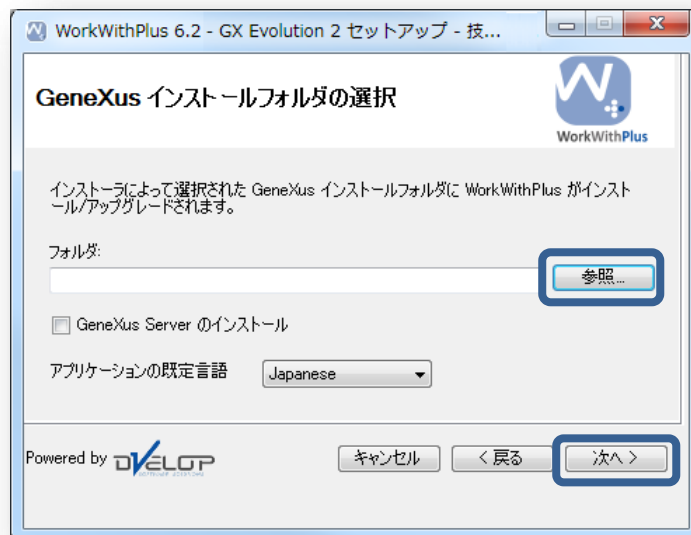
1. GeneXus Japan Web ページから製品版の Work With Plus のアプリケーションをダウンロードします（以下のページの最下部にある Evolution 2 用のダウンロードリンクをクリックしてください）。

<http://www.genexus.com/products-japan/www?ja>

2. 「DDevelopWorkWithPlus_6.2_forEv2_Full.zip」を解凍します。
3. 「DDevelopWorkWithPlus_6.2_Ev2_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。

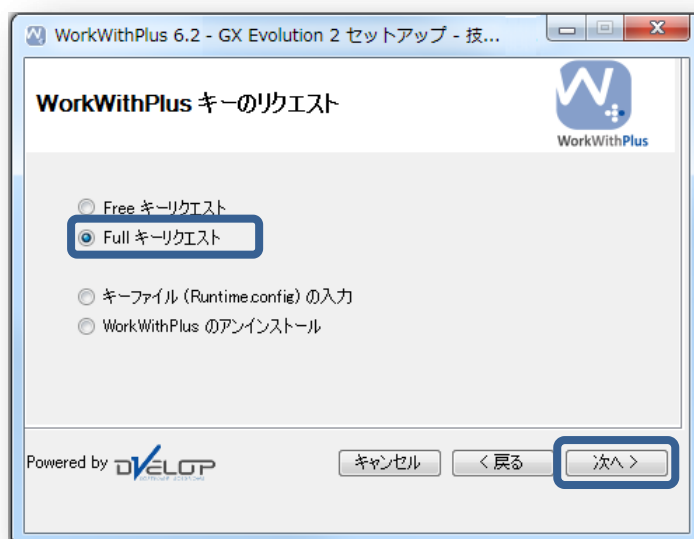


4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



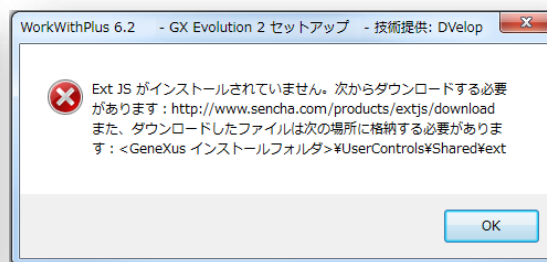
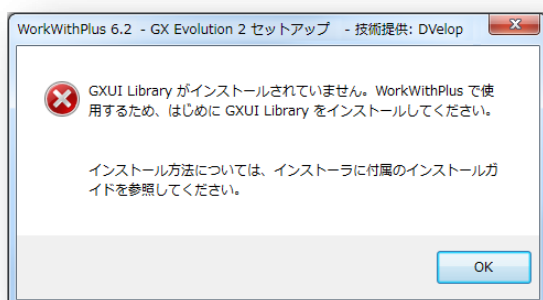
参考：「GeneXus Server のインストール」チェックボックスは GeneXus Server X にインストールする場合にのみ、選択してください。GeneXus Server X にインストールする場合の手順については、後述の「[GeneXus Server X へのインストール](#)」を参照してください。

5. 「参照」をクリックして、次のようにインストール場所を指定します：
「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP」
6. 「次へ」をクリックします。次のようなキーリクエスト画面が表示されます。





参考：「gxui Library」および「Ext JS 2.3.0」のいずれか（または両方）がインストールされていない場合、次のような警告メッセージが表示されます。Work With Plus のインストールの前に前述の「[セットアップ](#)」の手順に従って、「gxui Library」および「Ext JS 2.3.0」をインストールしてください。

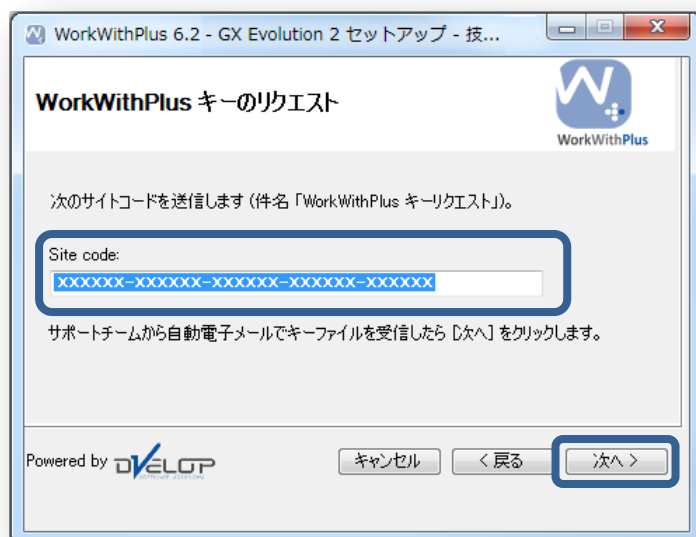


重要： GeneXus X Evolution 1 で既に Work With Plus をお使いの場合、キーリクエストは不要です。

「**キーファイル (Runtime.config) の入力**」のラジオボタンをクリックし、Evolution 1 で取得済みの同じアクティベーションキーを指定してください。ライセンス取得の詳細な手順については後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

7. 「Full キーリクエスト」のラジオボタンをクリックし、「次へ」をクリックします。

次の画面のように生成されたサイトコードが表示されます。



注意： 上の図で「XXXXXX」で示されている部分には各々6桁の固有の数字が入ります。



8. 「次へ」をクリックします。既定のメールアプリケーションが起動し、「WorkWithPlus キー請求依頼」という件名の「keysmaster@genexus.jp」宛のメールが自動的に作成されます。次の内容をメールの本文に入力してください。

- 会社名
- ご担当者名（GeneXus のユーザー登録が完了している場合はそのユーザー名）

参考：Work With Plus のインストール環境にメールアプリケーションが設定されていない場合には、メール送信可能なコンピューターからメールを送信してください。この場合、「keysmaster@genexus.jp」宛に「WorkWithPlus キー請求依頼」という件名でメールを作成し、本文には、「Site code:」欄に表示されている文字列（手順 8 の図を参照）をコピーし、「会社名」と「ご担当者名」を入力してください。

重要：販売店から Work With Plus を購入されたお客様の場合、上記の宛先「keysmaster@genexus.jp」を販売店の担当者のメールアドレスに変更してください。

9. お使いのメールアプリケーションからメールを送信します。これで Work With Plus のライセンス請求は完了です。アクティベーション キー ファイルを登録する方法については、次の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

重要：上記の手順で送信されたコードを受け取って検証した後、そのサイトコード用に一意の移動できないキーを生成します。このキーは、上記の手順で生成したサイトコードおよびセットアップを実行するコンピューターに対してのみ有効です。インストール後はアクティベーションキーを移動することができず、いかなる場合においても変更できません。

ライセンスを別のマシンに移行する場合の手順については、後述の「[ライセンスの移行](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

注意：Work With Plus で「Excel エクスポート」機能を使用するには、web\bin 内に「Jakarta.POI.dll」を配置する必要があります。

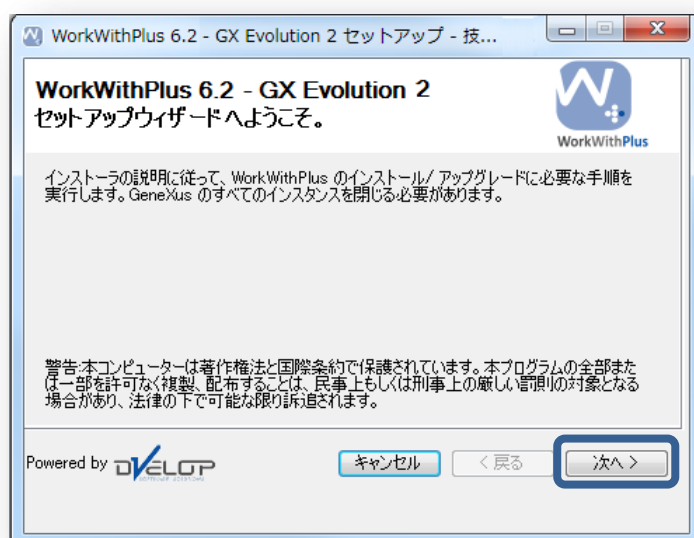
アプリケーションのアップグレード

このセクションでは、既にインストールされている Work With Plus を最新版にアップグレードする方法について説明します。

1. GeneXus Japan Web ページから最新の製品版 Work With Plus アプリケーションをダウンロードします（以下のページの最下部にある Evolution 2 用のダウンロードリンクをクリックしてください）。

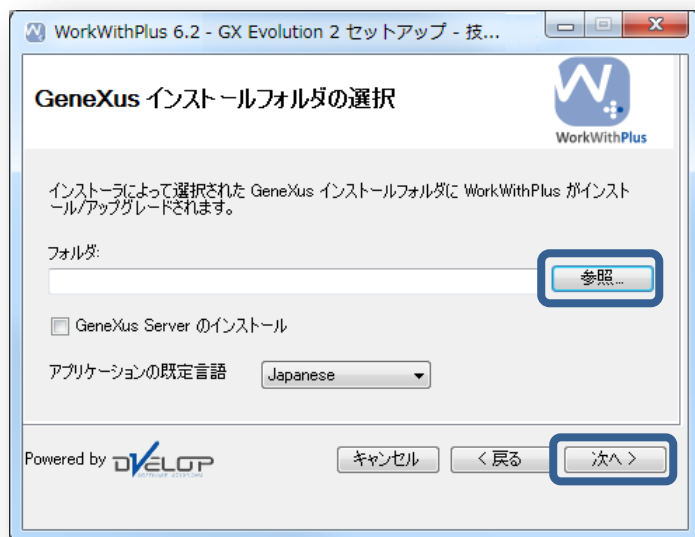
<http://www.genexus.com/products-japan/www?ja>

2. 「DDevelopWorkWithPlus_6.2_forEv2_Full.zip」を解凍します。
3. 「DDevelopWorkWithPlus_6.2_Ev2_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。





4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。

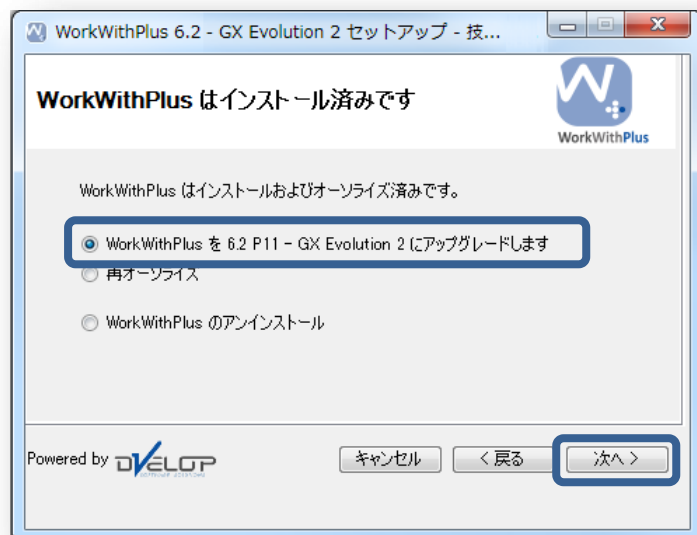


参考：「GeneXus Server のインストール」チェックボックスは GeneXus Server X もアップグレードする場合にのみ、選択してください。GeneXus Server X にインストールされている Work With Plus をアップグレードする場合には、後述の「[GeneXus Server X へのインストール](#)」を参照してください（インストールとアップグレードの手順は同じです）。

5. 「参照」をクリックして、次のようにインストール場所を指定します：
「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP」
6. 「次へ」をクリックします。



7. Work With Plus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。一番上の Work With Plus をアップグレードするオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



これでアップグレードは完了です。

参考：正しくアップグレードされていることを確認するには、GeneXus を起動し、GeneXus の「ツール」メニューから「WorkWithPlus」>「ヘルプ」>「WorkWithPlus について」と選択してから、表示されるバージョン情報を参照してください。

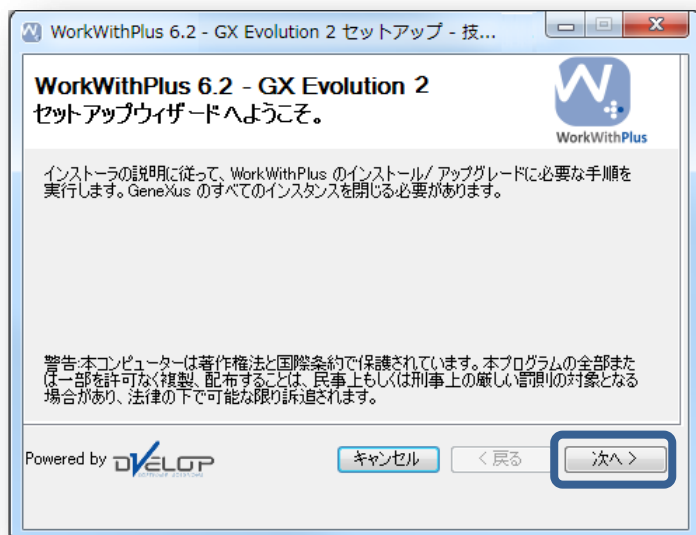
アプリケーションのアンインストール

このセクションでは、アプリケーションのアンインストールについて説明します。アプリケーションをアンインストールする前にあらかじめライセンスをアンインストールしておく必要があります。ライセンスのアンインストールについては、後述の「ライセンスのアンインストール」を参照してください。

1. 後述の「[ライセンスのアンインストール](#)」の手順に従ってライセンスをアンインストールします。
2. GeneXus Japan Web ページから製品版の Work With Plus のアプリケーションをダウンロードします（以下のページの最下部にある Evolution 2 用のダウンロードリンクをクリックしてください）。

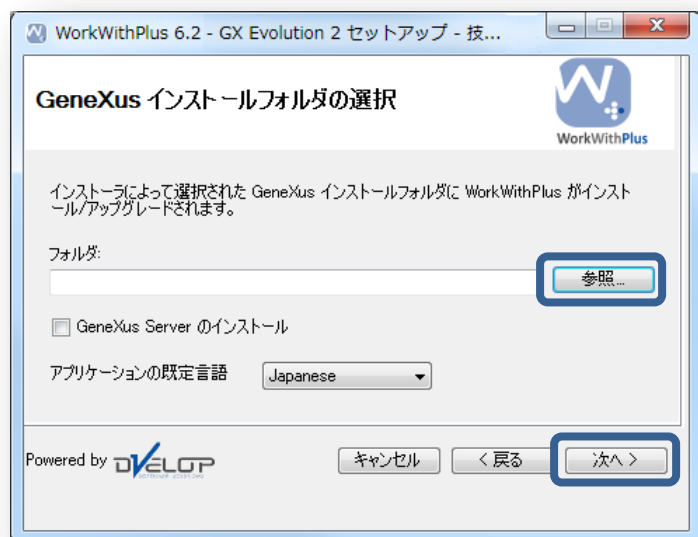
<http://www.genexus.com/products-japan/wwp?ja>

3. 「DVelopWorkWithPlus_6.2_forEv2_Full.zip」を解凍します。
4. 「DVelopWorkWithPlus_6.2_Ev2_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。

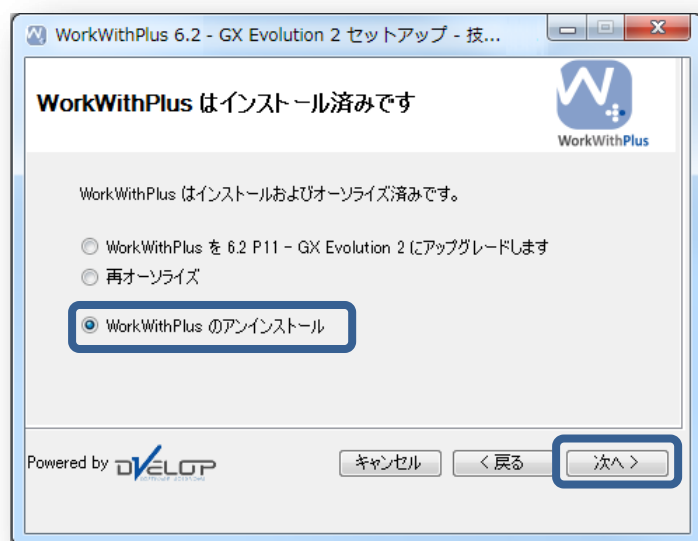




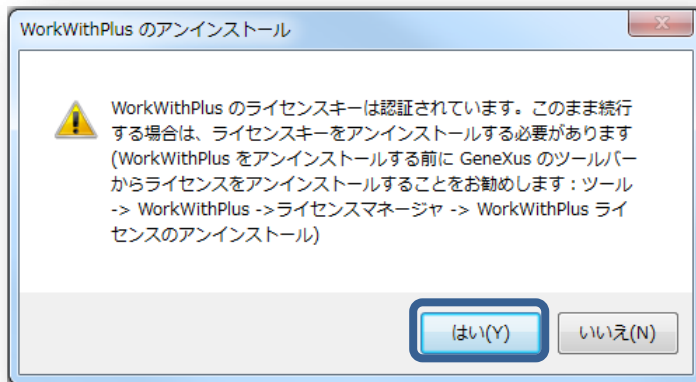
5. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



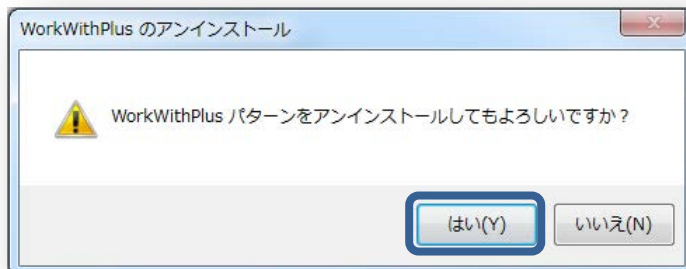
6. 「参照」をクリックして、次のようにインストールされている場所を指定します:
「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP」
7. 「次へ」をクリックします。
8. Work With Plus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。
「WorkWithPlus のアンインストール」のラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。



9. ライセンスのアンインストールが完了していない場合は、次のような警告メッセージが表示されます。
- 「はい」をクリックし、後述の「[ライセンスのアンインストール](#)」の手順に従ってライセンスをアンインストールしてください。



10. 既にライセンスのアンインストールが完了している場合、次のメッセージが表示されます。Work With Plus をアンインストールする場合は、「はい」をクリックします。





11. 次のようなメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。



これで Work With Plus アプリケーションのアンインストールは完了です。



ライセンスの取得

サイトコードの検証後に「Runtime.config」という名前のアクティベーション キー ファイルが、ライセンスを請求したメールアドレスに送信されます。ここでは、アクティベーションキーのインストール方法について説明します。

重要：アクティベーションキー (Runtime.config ファイル) を受信したら、速やかにインストールを行ってください。Runtime.config ファイルの発行日から月をまたいでインストールすると、ライセンスが無効になります。たとえば 10 月 25 日に Runtime.config ファイルを受信し、11 月 1 日にこのファイルをインストールする場合、ライセンスが無効であるというメッセージが表示されます。

1. サイトコードを生成したコンピューターに「Runtime.config」ファイルをコピーします。

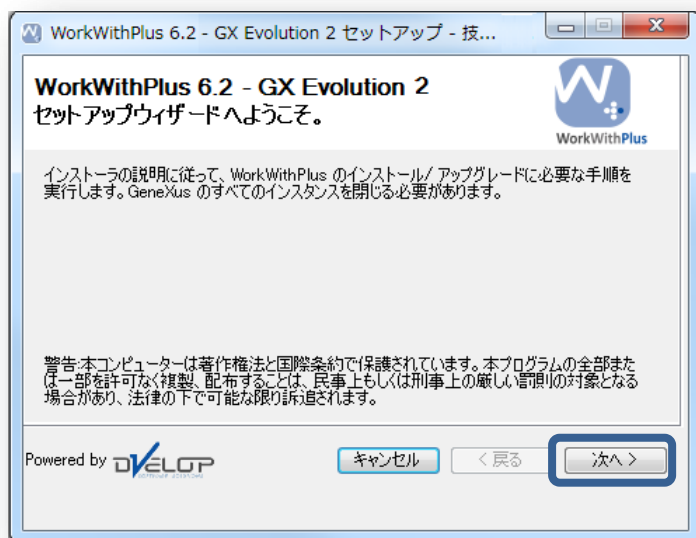
任意の場所にコピーできますが、便宜上以下の場所にコピーしてください：

Program Files/Artech/GeneXus/GeneXusXEv2JP/Packages/Patterns/

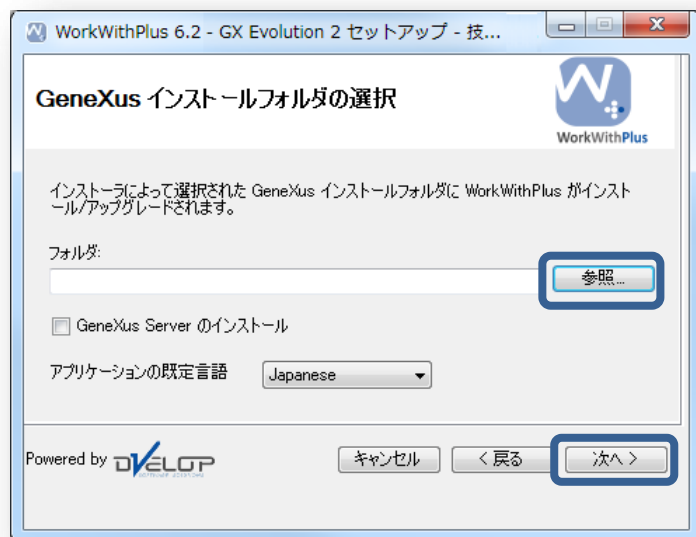
重要：アクティベーションキー (Runtime.config ファイル) は、最初に指定した場所から移動すると、ライセンスが正しく認識されなくなり、動作しなくなります (元の場所に戻すと使用できるようになります)。また、Runtime.config ファイルを誤って削除した場合には、ライセンスの再請求が必要となります。Runtime.config ファイルの取り扱いには十分注意してください。



2. 「DVelopWorkWithPlus_6.2_Ev2_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



3. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。

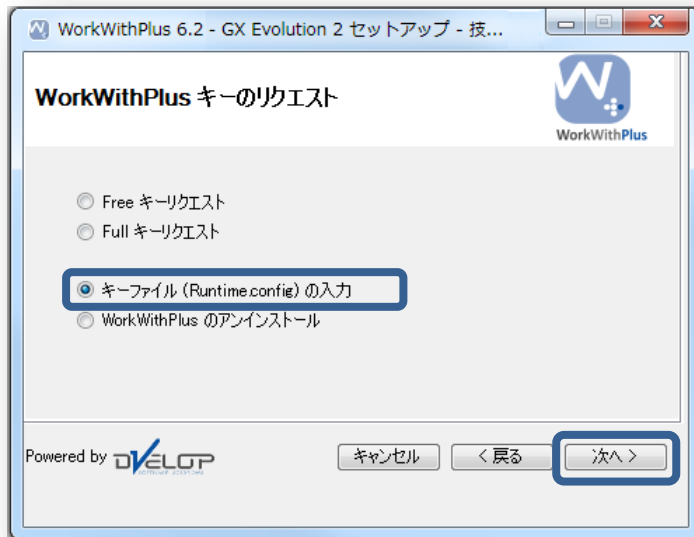


4. 「参照」をクリックして、次のようにインストール場所を指定します:

「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP」



5. 「次へ」をクリックします。次のようなキーリクエスト画面が表示されます。



6. 「キーファイル (Runtime.config) の入力」のラジオボタンをクリックし、「次へ」をクリックします。



7. 手順 1 のアクティベーション キーを選択して、「次へ」をクリックします。
8. 下図の画面が表示されたら「完了」をクリックします。これで Work With Plus の使用準備は完了です。



Work With Plus の操作や機能については、Work With Plus ヘルプ (<http://www.genexus.jp/help/>) を参照してください。このヘルプは、Work With Plus の操作中に Work With Plus のノードを右クリックして表示されるコンテキストメニューから選択することもできます。

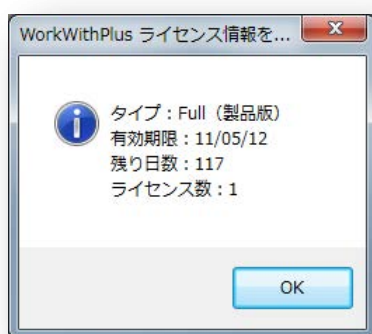
ライセンス情報の表示

新しいバージョンの Work With Plus では、ライセンス情報が表示されるようになりました。

次の手順に従ってライセンスのタイプ、有効期限、残り日数、およびライセンス数を確認することができます。

1. Work With Plus のライセンス情報を確認するコンピューターから GeneXus X Ev2 を起動します。
2. 任意のナレッジベースを開きます。
3. 「ツール」 > 「WorkWithPlus」 > 「ライセンスマネージャ」 > 「WorkWithPlus ライセンス情報を表示」と選択します。

下図のような「WorkWithPlus ライセンス情報を表示」ウィンドウが表示されます。



- タイプ：製品版または試用版のいずれかが表示されます。
- 有効期限：ライセンスの有効期限が表示されます。
- 残り日数：ライセンスの残存日数が表示されます。
- ライセンス数：インストールされているライセンスの本数が表示されます。

注意：ライセンスマネージャのメニュー項目はナレッジベースが開いている状態でないと、各コマンドがグレイで表示され、選択することができません。ライセンスマネージャの操作は、あらかじめナレッジベースを開いてから行ってください。

ライセンスの継続請求について

ライセンスの残り日数が少なくなった場合（ライセンスの有効日数が残存している状態）、残り日数を延長（ライセンスを継続）することができます（ライセンスの残り日数を確認する方法については、前述の「[ライセンス情報の表示](#)」を参照してください）。このセクションでは、ライセンスの継続請求について説明します。

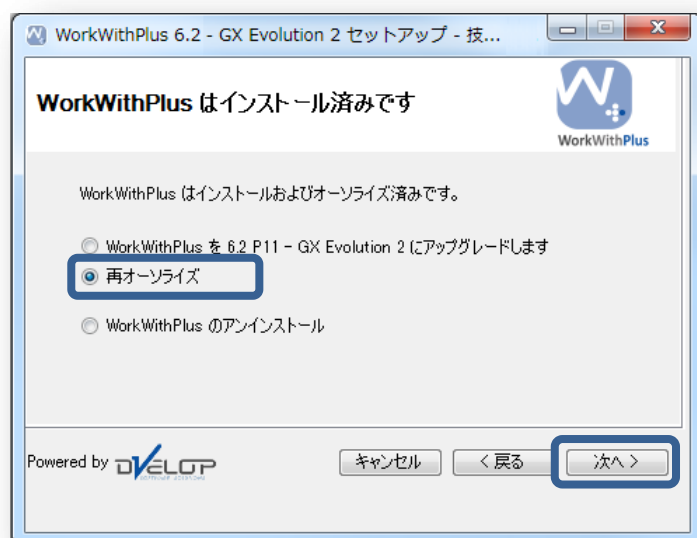
重要：ライセンスの有効日数が 0 になると、ライセンスが失効されるため、Work With Plus を使用できなくなります。ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は 5 営業日前までにお願い致します。有効期限よりも早めに継続請求を頂いた場合は、1 年間分の有効期間に早めに頂いた日数分をプラスして、ライセンスを発行致します。

例）＜2014 年 7 月 15 日まで有効のライセンス＞

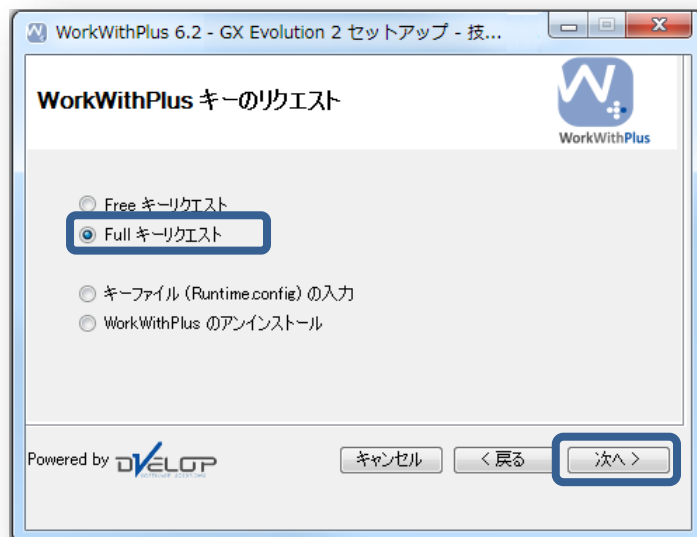
2014 年 7 月 8 日継続請求 → 2015 年 7 月 15 日まで有効のライセンスとして、ライセンスを発行
1 年間分 + 早めにご請求を頂いた日数分をプラスし、ライセンスを発行致します。

1. 前述の「[アプリケーションのインストール](#)」の手順 1～5 に従います。

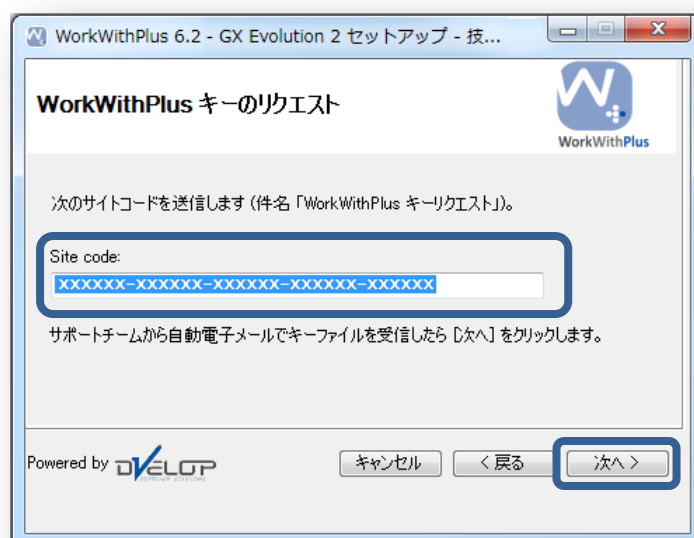
Work With Plus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。



2. 「再オーソライズ」のラジオボタンをクリックしてから「次へ」をクリックします。
3. 次のようなキーリクエスト画面が表示されます。



4. 「Full キーリクエスト」のラジオボタンをクリックしてから「次へ」をクリックします。
- 次の画面のように生成されたサイトコードが表示されます。



注意：上の図で「XXXXXXXX」で示されている部分には 6 桁の固有の数字が入ります。



5. 「次へ」をクリックします。既定のメールアプリケーションが起動し、「WorkWithPlus キー請求依頼」という件名の「keysmaster@genexus.jp」宛のメールが自動的に作成されます。次の内容をメールの本文に入力してください。

- 会社名
- ご担当者名（GeneXus のユーザー登録が完了している場合はそのユーザー名）

参考：Work With Plus のインストール環境にメールアプリケーションが設定されていない場合には、メール送信可能なコンピューターからメールを送信してください。この場合、「keysmaster@genexus.jp」宛に「WorkWithPlus キー継続請求依頼」という件名でメールを作成し、本文には、「Site code:」欄に表示されている文字列（手順 4 の図を参照）をコピーし、「会社名」と「ご担当者名」を入力してください。

重要：販売店から Work With Plus を購入されたお客様の場合、上記の宛先「keysmaster@genexus.jp」を販売店の担当者のメールアドレスに変更してください。

6. お使いのメールアプリケーションからメールを送信します。これで WorkWithPlus の継続ライセンス請求は完了です。いったんインストーラを終了してアクティベーションキーが届くまでお待ちください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外のご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

7. 継続請求依頼を送信したメールアドレスにアクティベーションキー（Runtime.config ファイル）が届いたら、前回コピーした場所と同じ場所に新しい「Runtime.config」ファイルをコピーし、古い「Runtime.config」ファイルと置き換えます。

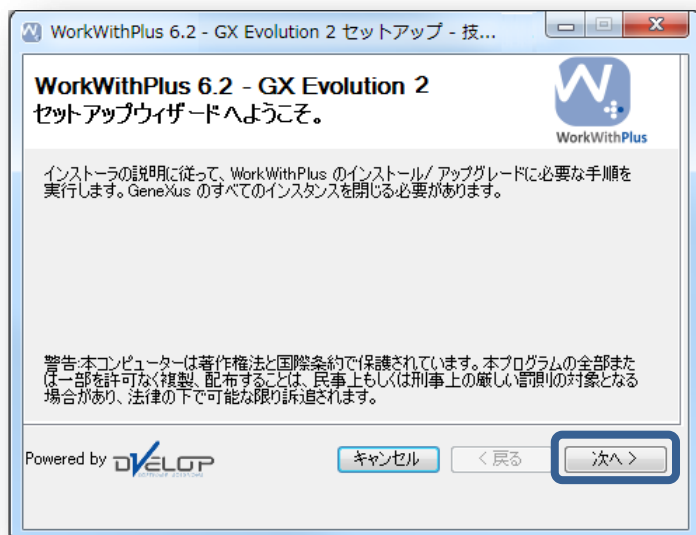
このマニュアルの手順では以下を指定しています：

Program Files/Artech/GeneXus/GeneXusXEv2JP/Packages/Patterns/

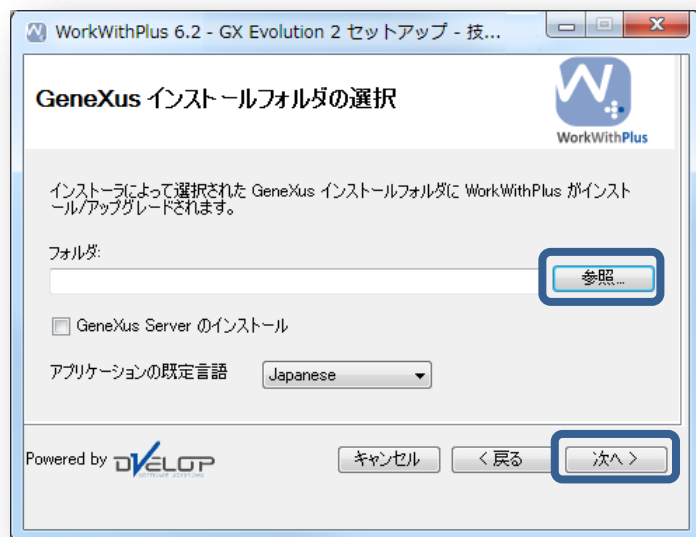
重要：アクティベーションキー（Runtime.config ファイル）を最初に指定した場所から移動すると、ライセンスが正しく認識されなくなり、動作しなくなります（元の場所に戻すと使用できるようになります）。また、Runtime.config ファイルを誤って削除した場合には、ライセンスの再請求が必要となります。Runtime.config ファイルの取り扱いには十分注意してください。



8. 「DvelopWorkWithPlus_6.2_Ev2_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



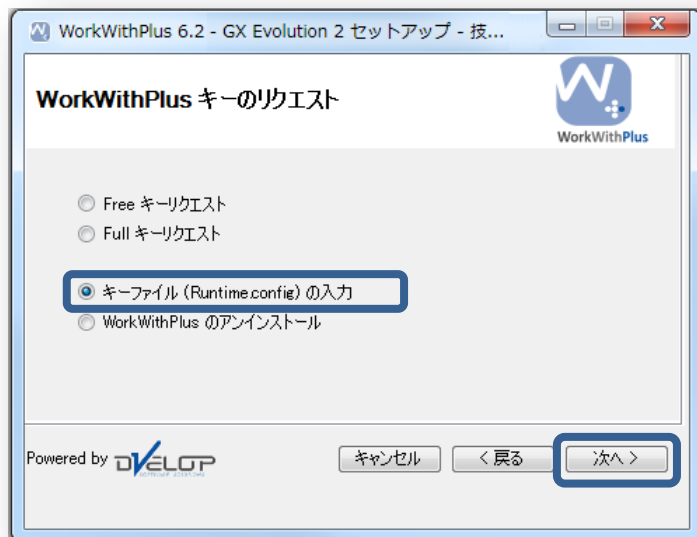
9. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



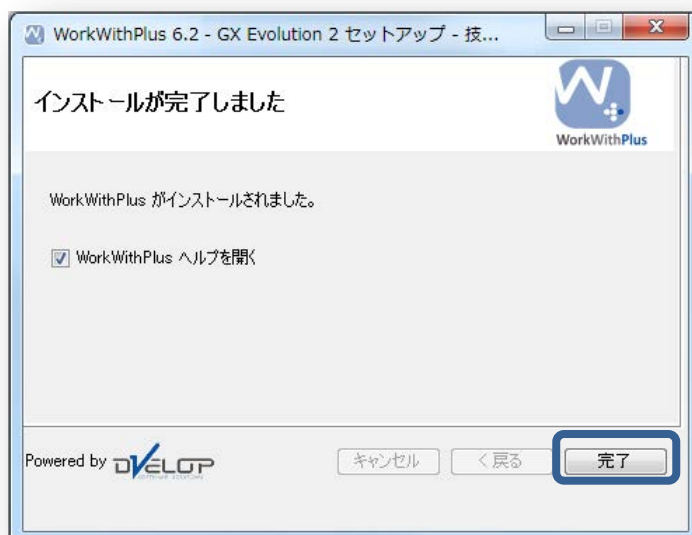
10. 「参照」をクリックして、次のように WorkWithPlus のインストール場所を指定します：
「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP」



11. 「次へ」をクリックします。次のようなキーリクエスト画面が表示されます。



12. 「キーファイル (Runtime.config) の入力」のラジオボタンをクリックし、「次へ」をクリックします。
13. 手順 6 のアクティベーション キーを選択して、「次へ」をクリックします。
14. 下図の画面が表示されたら「完了」をクリックします。これで Work With Plus の使用準備は完了です。



ライセンスの移行

Work With Plus のライセンスを移行する場合、次の 2 つのオプションがあります。

- 「自動ライセンス移行」：「WorkWithPlus ライセンスの移動」オプションを使って、Web ページ経由でライセンスの移行リクエストを行います。
- 「手動ライセンス移行」：Work With Plus がインストールされているコンピューターからライセンスをアンインストールしてから、関連するファイルおよび新しいマシンのサイトコードを Work With Plus サポート (keysmaster@genexus.jp) へ送信します。

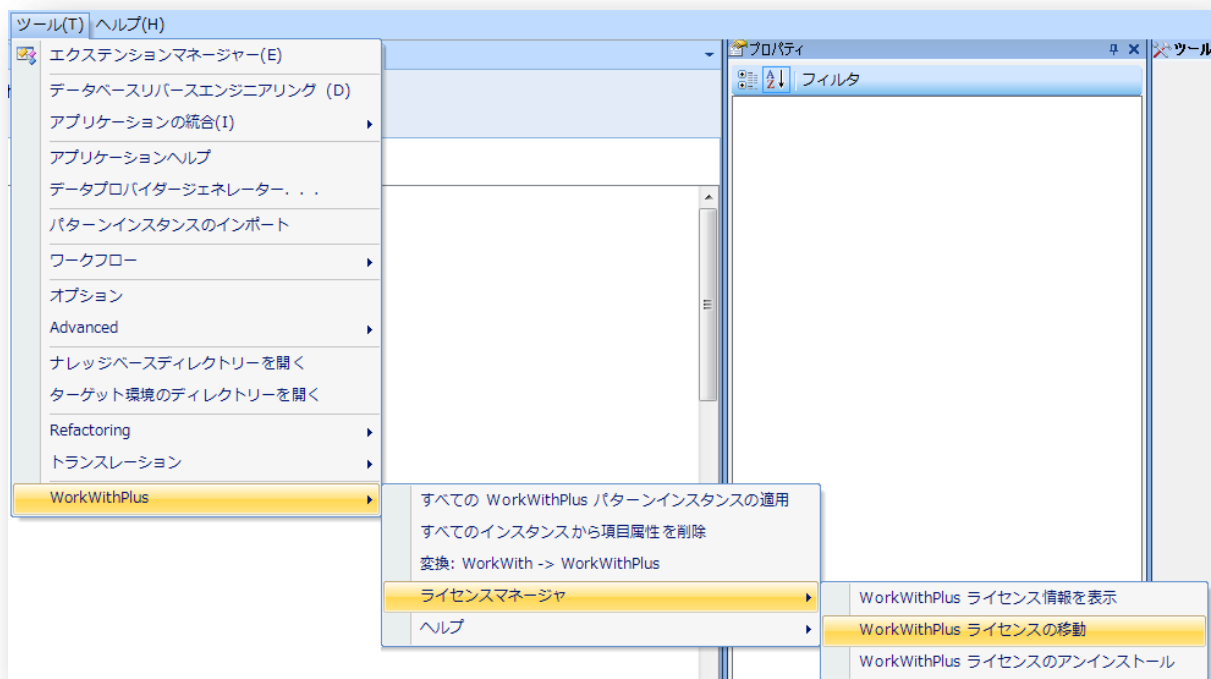
詳しい手順については、次の「[自動ライセンス移行](#)」、「[手動ライセンス移行](#)」を参照してください。

自動ライセンス移行

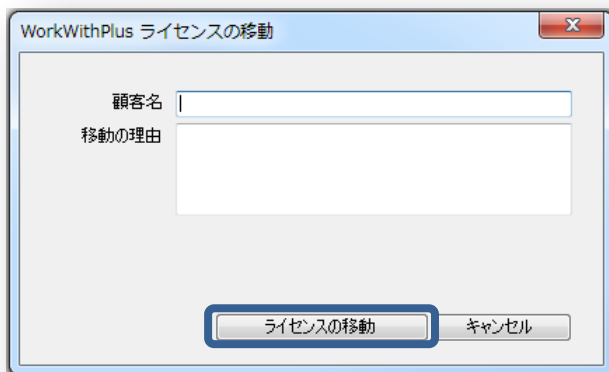
ライセンスを自動で移行するには、次の手順に従います。

注意：ライセンスを移行する前に、予め移行先のマシンで前述の「[セットアップ](#)」および「[アプリケーションのインストール](#)」の手順 1～7 を実行しておく必要があります。この場合、リクエストメールを送信せずに生成されたサイトコードをコピーしておいてください。

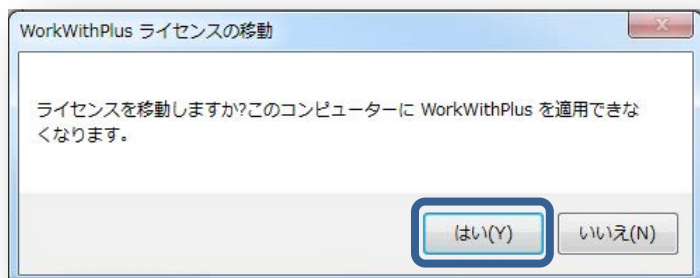
1. Work With Plus のライセンスを移行するコンピューターから GeneXus X Ev2 を起動します。
2. 任意のナレッジベースを開きます。
3. 「ツール」>「WorkWithPlus」>「ライセンスマネージャ」>「WorkWithPlus ライセンスの移動」と選択します。



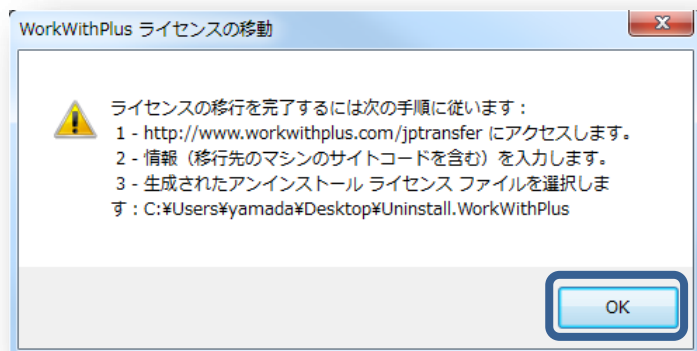
次のような「ライセンスの移動」ダイアログが表示されます。



4. 「顧客名」フィールドに会社名、「移動の理由」フィールドに理由を入力し、「ライセンスの移動」をクリックします。
5. 「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルの保存先を指定するダイアログが表示されたら、保存先を指定し、「OK」をクリックします。
6. 次のようなメッセージが表示されます。ライセンスを移動する場合には「はい」をクリックします。このとき、「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルが自動生成され、手順 4 で指定した場所に保存されます。



7. 「WorkWithPlus ライセンスの移動」ダイアログが表示されます。記載されているライセンスの移行手順を確認し、「OK」をクリックします。





既定の Web ブラウザが起動し、下図のような「自動ライセンス移行」ページ
(www.workwithplus.com/jptransfer/) が表示されます。

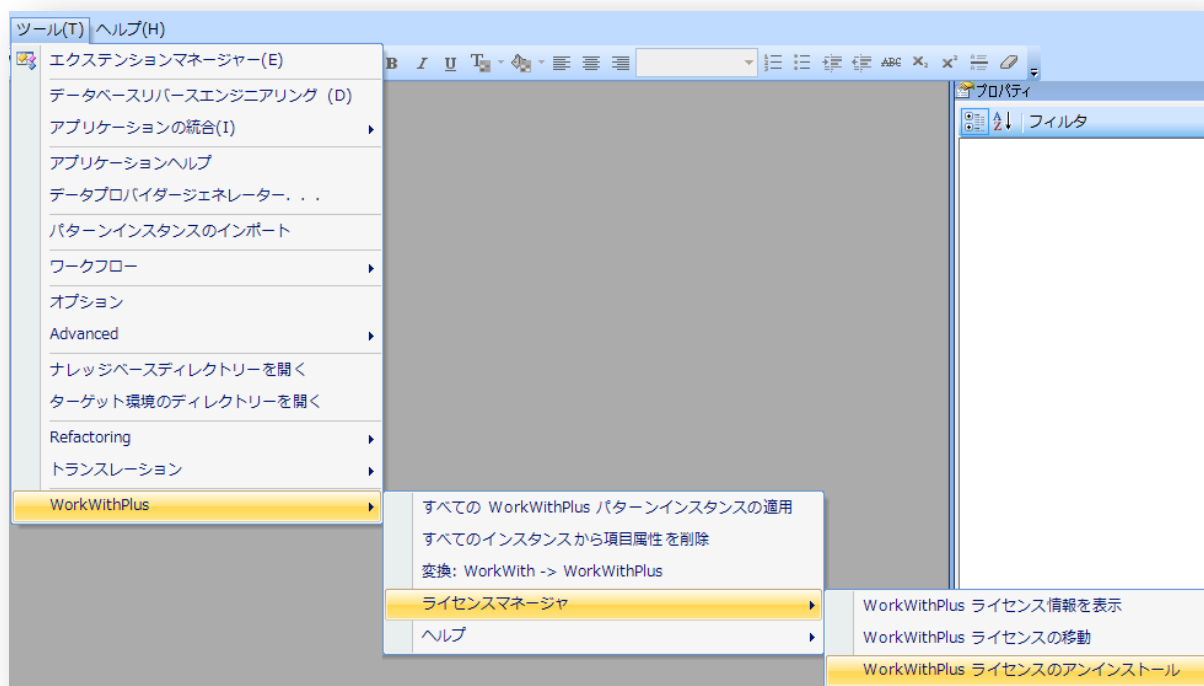
8. 「メールアドレス」および「移行先のマシンのサイトコード」を入力し、手順 5 で作成した「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルを指定してから、「送信」をクリックします。

注意：ライセンスマネージャのメニュー項目はナレッジベースが開いている状態でないと、各コマンドがグレイで表示され、選択することができません。ライセンスマネージャの操作は、あらかじめナレッジベースを開いてから行ってください。

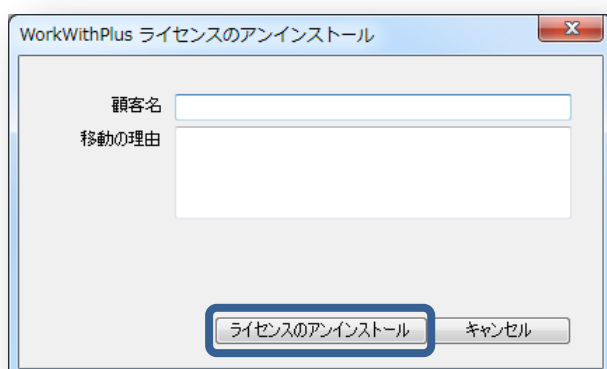
手動ライセンス移行

ライセンスを手動で移行する場合、インストールされているライセンスをアンインストールする必要があります。
ライセンスをアンインストールするには、次の手順に従います。

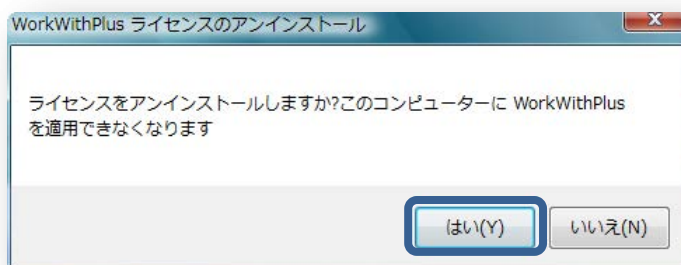
1. Work With Plus のライセンスを移行するコンピューターから GeneXus X Ev2 を起動します。
2. 任意のナレッジベースを開きます。
3. 「ツール」 > 「WorkWithPlus」 > 「ライセンスマネージャ」 > 「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」と選択します。



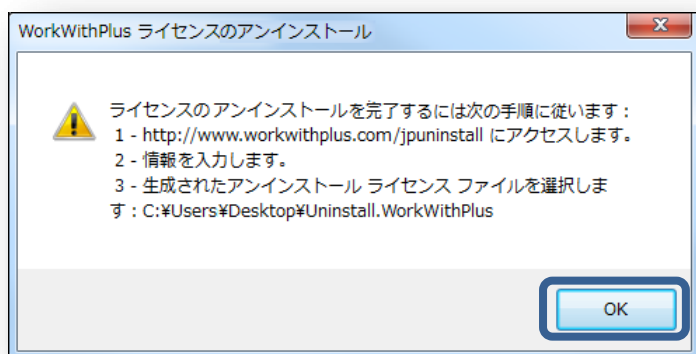
次のような「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」画面が表示されます。



4. 「顧客名」フィールドに会社名、「移動の理由」フィールドに理由を入力し、「ライセンスのアンインストール」をクリックします。
5. 「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルの保存先を指定するダイアログが表示されたら、保存先を指定し、「OK」をクリックします。
6. 次のようなメッセージが表示されます。アンインストールする場合には「はい」をクリックします。このとき、「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルが自動生成され、手順 4 で指定した場所に保存されます。



7. 「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」ダイアログが表示されます。ここに記載されている手順は実行せずに、「OK」をクリックします。



参考：上図の画面の手順に従ってオンラインでライセンスのアンインストールすることもできます。ライセンスのアンインストールについては後述の「ライセンスのアンインストール」を参照してください。



8. メール送信可能なコンピューターから手順 5 で作成した「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルを添付し、「keysmaster@genexus.jp」宛にメールを送信します。

次の内容でメールを作成してください：

件名：「WorkWithPlus - ライセンスのアンインストール」

本文：「会社名」と「ご担当者名」を入力してください。

宛先：keysmaster@genexus.jp

添付：「Uninstall.WorkWithPlus」ファイル

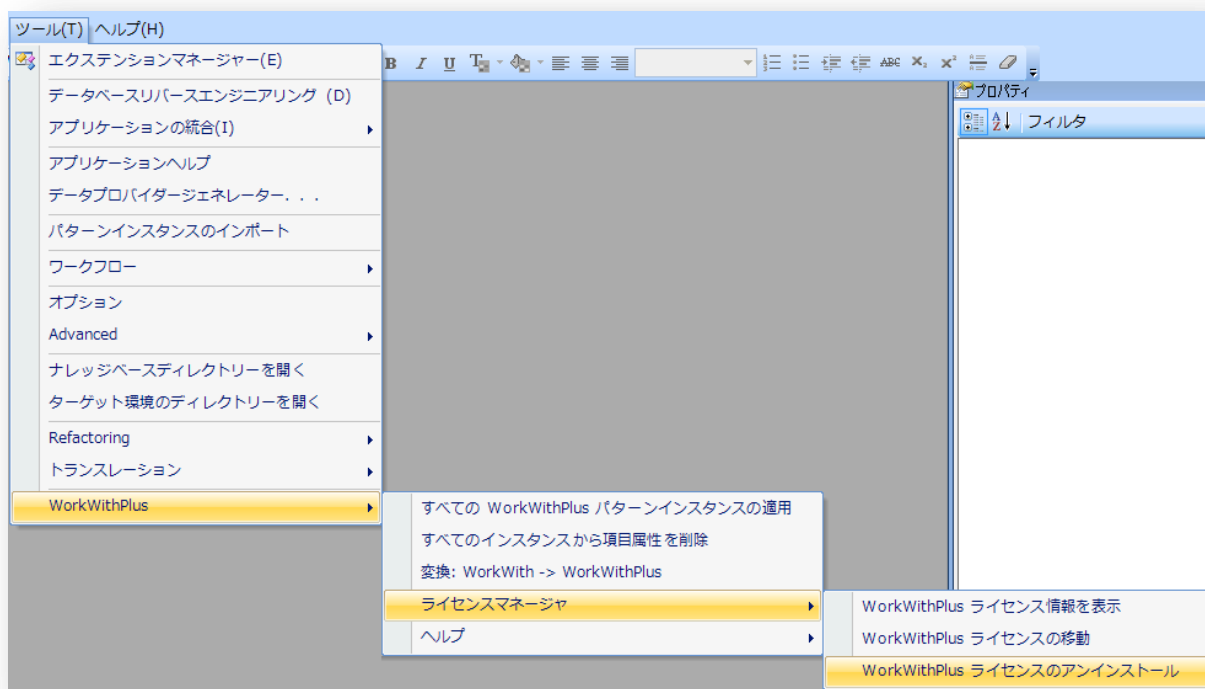
重要：販売店から Work With Plus を購入されたお客様の場合、上記の宛先「keysmaster@genexus.jp」を販売店の担当者のメールアドレスに変更してください。

9. 次に移行先のコンピューターで、前述の「[セットアップ](#)」および「[アプリケーションのインストール](#)」の手順 1~8 を実行します（ここでは移行先のマシン用のライセンス請求を行うことになります）。新しく発行されたアクティベーションキーを「[ライセンスの取得](#)」の手順に従って取り込みます。これで手動ライセンス移行は完了です。

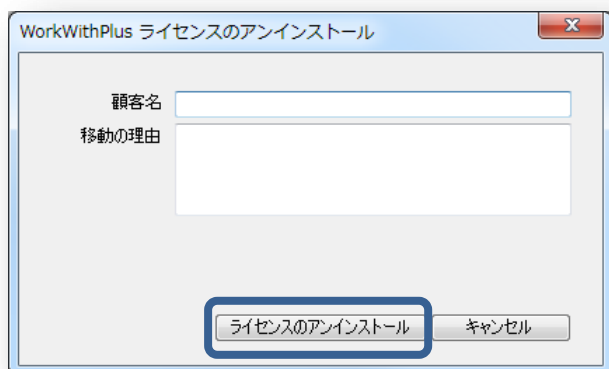
ライセンスのアンインストール

新しいバージョンの Work With Plus では、ライセンスのアンインストールをオンラインで実行することができます。

1. Work With Plus のライセンスを移行するコンピューターから GeneXus X Ev2 を起動します。
2. 任意のナレッジベースを開きます。
3. 「ツール」 > 「WorkWithPlus」 > 「ライセンスマネージャ」 > 「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」と選択します。

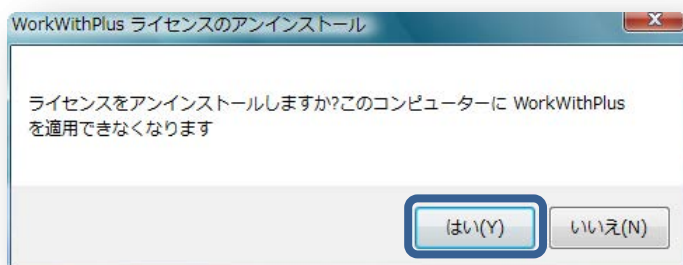


次のような「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」画面が表示されます。





4. 「顧客名」フィールドに会社名、「移動の理由」フィールドに理由を入力し、「ライセンスのアンインストール」をクリックします。
5. 「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルの保存先を指定するダイアログが表示されたら、保存先を指定し、「OK」をクリックします。
6. 次のようなメッセージが表示されます。アンインストールする場合には「はい」をクリックします。このとき、「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルが自動生成され、手順 4 で指定した場所に保存されます。



7. 「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」ダイアログが表示されます。記載されているライセンスのアンインストール手順を確認し、「OK」をクリックします。





既定の Web ブラウザが起動し、下図のような「ライセンスのアンインストール」ページ
(www.workwithplus.com/jpuninstall/) が表示されます。

A screenshot of a web browser showing the 'License Uninstall' page. The page has a header with the WorkWithPlus logo and navigation links: FUNCTIONALITIES, COMPANY, CUSTOMERS, SUPPORT AND TRAINING, COMMUNITY, and BUY. The main content area is titled 'ライセンスのアンインストール' (License Uninstall) and contains the instruction '請求を開始するには、このフォームに情報を入力してください。' (To start the request, please enter information in this form.). There are two input fields: 'メールアドレス: *' (Email address: *) and 'アンインストールファイル: *' (Uninstall file: *). The second field has a '参照...' (Browse...) button next to it. A large blue '送信' (Send) button is at the bottom of the form.

8. 「メールアドレス」を入力し、手順 5 で作成した「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルを指定してから、「送信」をクリックします。
これでライセンスのアンインストールは完了です。

注意：ライセンスマネージャのメニュー項目はナレッジベースが開いている状態でないと、各コマンドがグレイで表示され、選択することができません。ライセンスマネージャの操作は、あらかじめナレッジベースを開いてから行ってください。



ライセンスの再発行について

予期せぬトラブルで Work With Plus をインストールしているコンピューターが故障し、ライセンスの再発行が必要になった場合には、弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求してください。「ライセンス再発行依頼書」に必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送して頂きます。

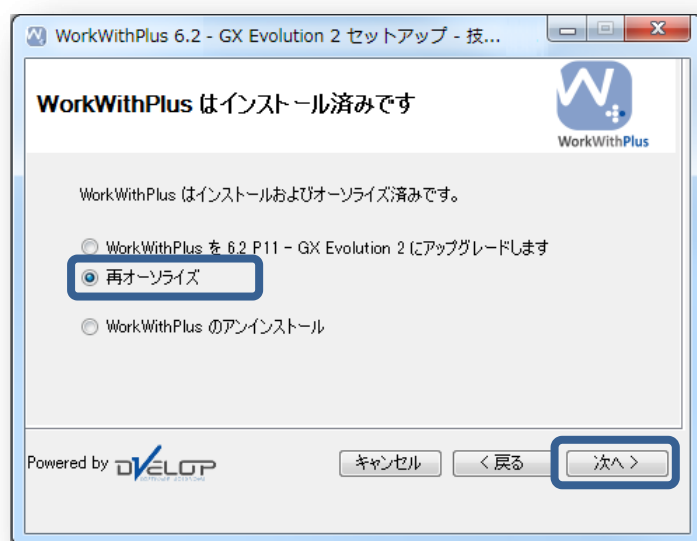
再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途、ライセンスの請求手続きを行ってください。ライセンス請求については、前述の「[アプリケーションのインストール](#)」を参照してください。

試用版から製品版に移行する

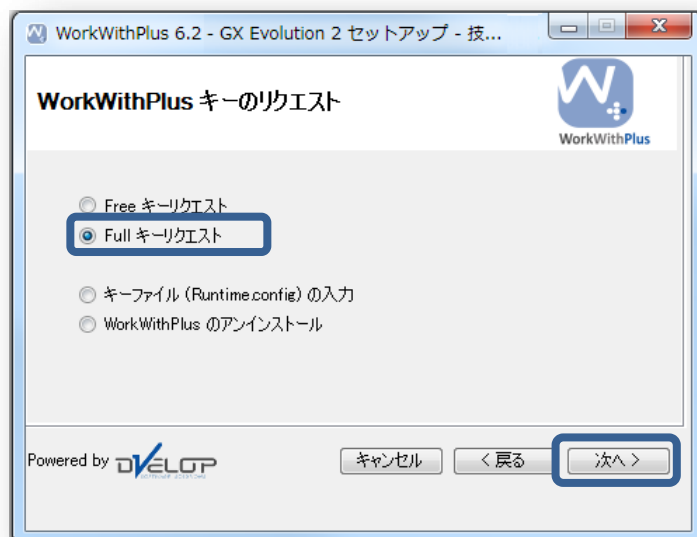
試用版の Work With Plus から製品版の Work With Plus に移行する場合は次の手順に従います。

1. 「[アプリケーションのインストール](#)」の手順 1～5 に従います。

Work With Plus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。

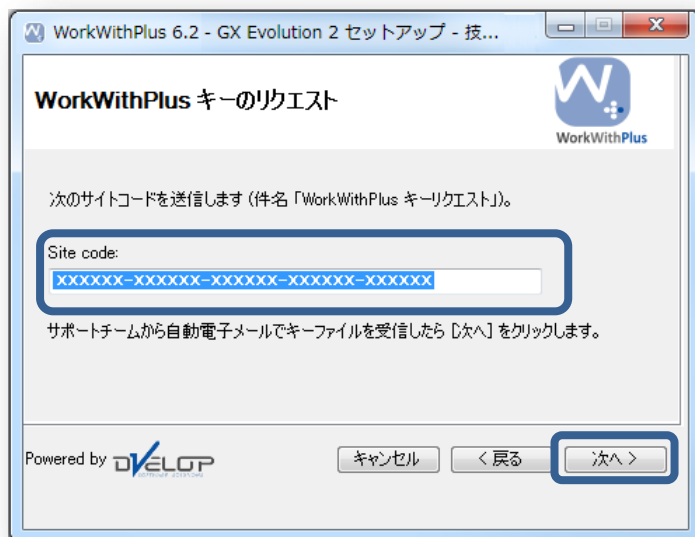


2. 「再オーソライズ」のラジオボタンをクリックしてから「次へ」をクリックします。
3. 次のようなキーリクエスト画面が表示されます。



4. 「Full キーリクエスト」のラジオボタンをクリックしてから「次へ」をクリックします。

次の画面のように生成されたサイトコードが表示されます。



注意：上の図で「XXXXXX」で示されている部分には 6 桁の固有の数字が入ります。

5. 「次へ」をクリックします。既定のメールアプリケーションが起動し、「WorkWithPlus キー請求依頼」という件名の「keysmaster@genexus.jp」宛のメールが自動的に作成されます。次の内容をメールの本文に入力してください。

- 会社名
- ご担当者名（GeneXus のユーザー登録が完了している場合はそのユーザー名）

参考：Work With Plus のインストール環境にメールアプリケーションが設定されていない場合には、メール送信可能なコンピュータからメールを送信してください。この場合、「keysmaster@genexus.jp」宛に「WorkWithPlus キー請求依頼」という件名でメールを作成し、本文には、「Site code:」欄に表示されている文字列（手順 4 の図を参照）をコピーし、「会社名」と「ご担当者名」を入力してください。

重要：販売店から Work With Plus を購入されたお客様の場合、上記の宛先「keysmaster@genexus.jp」を販売店の担当者のメールアドレスに変更してください。

6. お使いのメールアプリケーションからメールを送信します。これで製品版の WorkWithPlus のライセンス請求は完了です。アクティベーション キー ファイルを登録する方法については、前述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

GeneXus Server X へのインストール

GeneXus Server X に Work With Plus をインストールする場合、ライセンスは必要ありません。ただし、GeneXus Server X にも Work With Plus を使用するために「gxui Library」ユーザーコントロールと「Ext JS」ライブラリーをインストールしておく必要があります。このセクションではインストール手順について説明します。

gxui Library のインストール

1. GeneXus market place (<http://marketplace.genexus.com/versions.aspx?gxuilibrary>) から gxui Library ユーザーコントロール version 1.1 beta (Build 1468) をダウンロードします。

注意： Work With Plus は gxui Library 2.0 には対応していません。

2. GeneXus Server X を起動します。「設定」タブをクリックしてから、「ユーザーコントロール」タブをクリックします。

次のような画面が表示されます。

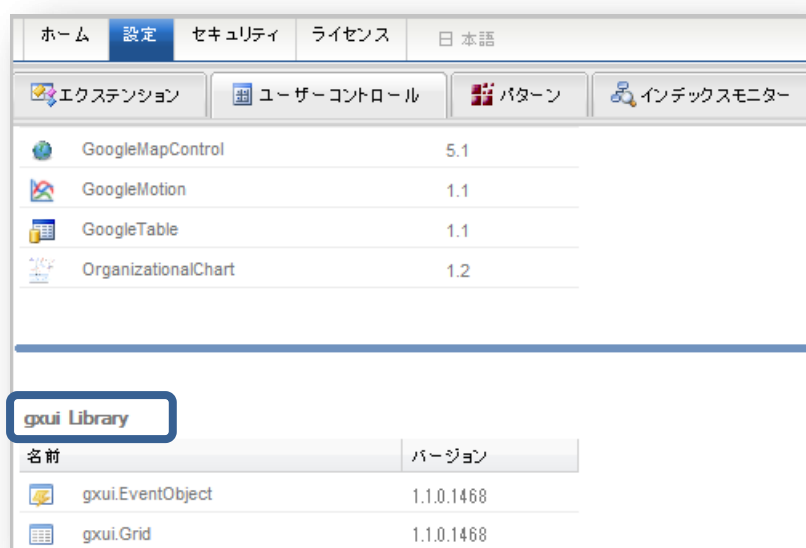


3. 「add new user control」ボタンをクリックして、手順 1 でダウンロードしたファイルを指定します。このとき、選択するファイルは zip ファイルのままでかまいません。

- 「Add new user control」 ボタンの下に下図のような空白の進捗バーが表示されたら、「Upload」をクリックします。



これでインストールは完了です。インストールが完了すると、このウィンドウの下部に「gxui Library」が追加されます。



Ext JS のインストール

1. Ext JS 2.3.0 を <http://www.sencha.com/products/extjs/download/> からダウンロードします。
2. GeneXus Server X を起動します。「設定」タブをクリックしてから、「ユーザーコントロール」タブをクリックします。

次のような画面が表示されます。



3. 「add new user control」ボタンをクリックして、手順 1 でダウンロードしたファイルを指定します。
このとき、Ext JS 2.3.0 を内包するフォルダの名前を「ext」にしてから選択してください。

- 「add new user control」 ボタンの下に下図のような空白の進捗バーが表示されたら、「Upload」をクリックします。



これで Ext JS のインストールは完了です。

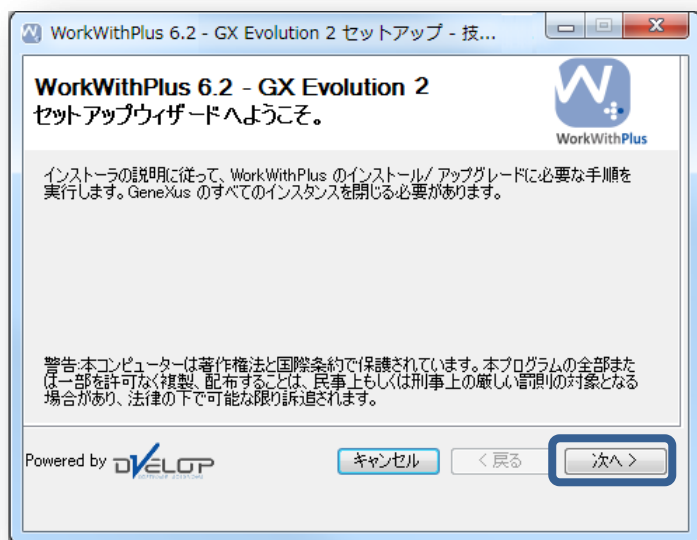


アプリケーションのインストール

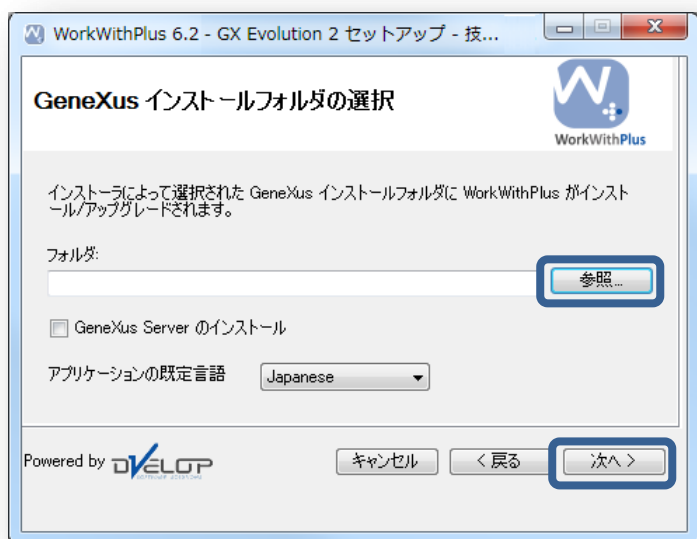
1. GeneXus Japan Web ページから製品版の Work With Plus のアプリケーションをダウンロードします
(以下のページの最下部にある Evolution 2 用ダウンロードリンクをクリックしてください)。

<http://www.genexus.com/products-japan/wwwp?ja>

2. 「DVelopWorkWithPlus_6.2_forEv2_Full.zip」を解凍します。
3. 「DVelopWorkWithPlus_6.2_Ev2_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



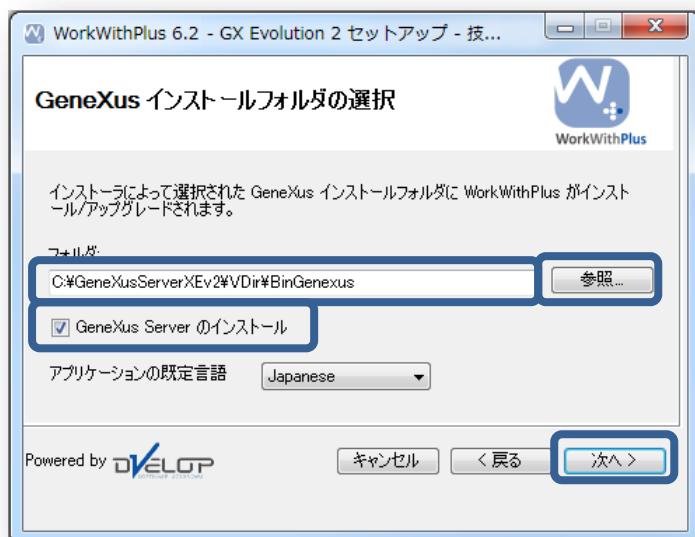
4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。





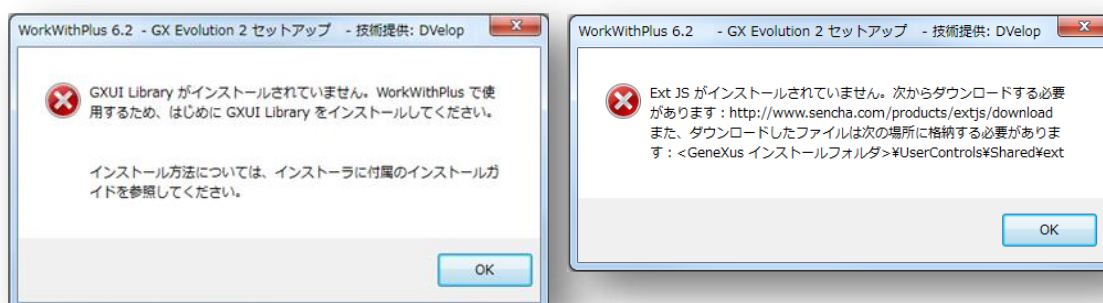
5. 「参照」をクリックして、次のように GeneXus Sever X のインストール場所を指定します:

「C:\GeneXusServerXEv2\VDir\BinGeneXus」



6. 「GeneXus Server のインストール」のチェックボックスを選択してから「次へ」をクリックします。

参考: 「gxui Library」および「Ext JS 2.3.0」のいずれか（または両方）がインストールされていない場合、次のような警告メッセージが表示されます。Work With Plus のインストールの前に前述の「[gxui Library のインストール](#)」および「[Ext JS のインストール](#)」の手順に従って、「gxui Library」および「Ext JS 2.3.0」をインストールしてください。



7. 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、「完了」をクリックします。

これで Work With Plus のインストールは完了です。

参考: GeneXus Server X にインストールする場合、ライセンスが不要なため、サイトコードの生成とアクティベーションファイルの取得のプロセスはありません。